

平成 25 年度第 37 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 埼玉県大会要項

名 称	平成 25 年度第 37 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント埼玉県大会
目 的	平成 25 年度関東大学サッカー選手権に出場する 3 チームの選出、埼玉県大学サッカー連盟所属チームのレベルの向上、相互の親睦を深めることを目的とする。
主 催	全日本大学サッカー連盟・関東大学サッカー連盟
主 管	埼玉県大学サッカー連盟
期 日	平成 25 年 4 月 7 日（日）～4 月 28 日（日）
会 場	埼玉県大学サッカー連盟所属大学グラウンド
参加資格	(1) (公財) 日本サッカー協会に第 1 種加盟登録し、なおかつ全日本大学サッカー連盟・関東大学サッカー連盟・埼玉県大学サッカー連盟に加盟している単独の学生を以って構成されたチームであること。 (2) 選手は、(公財) 日本サッカー協会発行の 2013 年度写真付き選手証を携帯し、かつ提出できる者とする。尚、新年度選手証が未着の場合は、4 月末日までは追加選手名が記されている kickoff の申請画面のコピー及び、SFA への振込証明書と学生証の提出で出場を認める。 (3) 4 月 1 日（日）までに提出されたエントリー用紙に記載された役員・選手に限る。尚、その後の追加エントリーについては、別記の通りとする。
競技方法	(1) エントリーしたチームでトーナメント戦を行う。 (2) 試合時間は 90 分とし、90 分間で勝敗が決定しない時は 20 分間(10 分—10 分)の延長戦を行い、尚、決しない時にはペナルティーキック方式により決定する。
競技規定	(1) 試合の競技規則は当該年度 (公財) 日本サッカー協会の競技規則による。但し交代に関しては競技前に登録した最大 7 名の交代要員の中から 5 名(キーパー含む)までの交代が認められる。 (2) 試合中主審により退場を命じられた選手は本大会中の次の 2 試合に自動的に出場することができない。但し、警告 2 枚により退場を命じられた選手は、自動的に本大会中の次の 1 試合に出場することができない。それ以降の処置については、埼玉県大学サッカー連盟フェアプレー・規律委員会 (委員: 今野氏、上原氏、西川氏) において 1 週間以内 or 次の試合までに決定する。また、出場停止・ベンチ入り停止の処分については、大会をまたぎ適応する。 (3) 各試合を通じ、警告の累積が 2 回となった選手は次の 1 試合に出場することができない。 (4) 本大会でのテクニカルエリアについて、競技規則に示してある一般的な指針に従うが、会場状況に応じて主審とマッチコミッショナーの判断において決定する。 (5) テクニカルエリアで指示を伝えることの出来る役員は、その都度 1 名に限る。又、役員は席を立ち上がって戦術的指示を与えることができるが、テクニカルエリアおよびベンチ内では責任ある態度で行動しなければならない。 退席を命じられた役員は、次の 2 試合のベンチ入りを自動的に停止する。それ以降の処置については、埼玉県大学サッカー連盟フェアプレー・規律委員会 (委員: 今野氏、上原氏、西川氏) において 1 週間以内 or 次の試合までに決定する。また、出場停止、ベンチ入りの停止の処分については、大会をまたぎ適応する。 (6) 未エントリー選手の試合出場が判明した時は直ちに主審に申し出て試合を中止する。 この試合は違反チームの棄権とする。違反チームの処分については評議員会で決定する。 試合後明らかになった場合は発見したチームが書面を以って評議員会議長に報告し、その後の処置は評議員会で決定する。
選手及び役員	ベンチに入れる者は登録された役員 6 名(マネージャー含む)、交代選手 7 名(ビブス着用)の 13 名を上限とする。また、出場停止中の選手・役員はベンチに入ることが出来ない。
ユニフォーム	(1) ユニフォーム・背番号は、エントリー用紙で登録し記載されたユニフォーム・背番号でのみ出場できる。

- (2)ユニフォームは（公財）日本サッカー協会ユニフォーム規定に準じたものを使用する。
尚、インナー及び、ユニフォームを覆うテープ（テーピング含）はその同色でなければならない。
- (3)ユニフォーム(シャツ・パンツ・ストッキング)は正の他に副として正と異なる色のユニフォームをエントリー用紙に記載し、必ず携行すること。
マネージャーズミーティング以外でのユニフォームの決定は無効とする。
- (4)ユニフォーム決定の優先権は昨年度上位チームとする。なお、マネージャーズミーティングに遅れたチームの優先権は無効とする。

審判員

- (1)主審は、埼玉県サッカー協会より派遣される予定であるが、派遣が出来ない場合には学生の有資格者が行う。副審と第4審判は割り当て表により各大学から派遣される。
- (2)事情により副審と第4審判が出せない場合は速やかに審判部・田中まで連絡すること。
- (3)副審と第4審判はマネージャーズミーティングに出席し、主審と打ち合わせを行うこと。やむを得ない理由でマネージャーズミーティングに出席できない場合は、速やかに連絡をするとともに本部の指示を受けること。
- (4)副審と第4審判は審判服とワッペンを着用し、ストップウォッチ機能付きの腕時計を携行し、審判証をマネージャーズミーティングで提示する。尚、審判証の提示ができない場合は、マッチコミッショナーが試合の実施及び、延期等について判断する。

参加申込み

- (1)4月1日までに、エントリー用紙を提出する。尚、提出以降の背番号およびユニフォーム等の変更は認めない。
- (2)追加エントリーは、試合の3日前必着で追加選手を赤字で加えた新しいエントリー用紙を添付し次のアドレス (ikari.jiko@gmail.com) まで送り、同時に追加選手名を登録部・碓石の携帯 (ikatara-ak.05@docomo.ne.jp) まで連絡すること。尚、受付完了は登録部からの確認連絡がきた時点とする。
- (3)参加費は1試合につき7,500円とする。参加費は、埼玉県大学サッカー連盟の口座に必ず大学名で振込むこと（埼玉りそな銀行 松原支店 普通口座 4439363）。

延期・遅延

- (1)天候等による試合の中止に関しては、マッチコミッショナー、グラウンド管理者、主審の判断に一任する。
中止の場合は、試合の2時間前に判断することを原則とするが、それ以降であっても、天候、会場の状況が悪化した場合は中止にする場合もある。
- (2)試合開始時間の遅刻は公共交通機関の遅延によるものであれば、MCの判断により30分までは試合の開始を遅らせることができる。尚、その際は公的な証明書を提出すること。その他の場合は原則として棄権とする。

諸注意

- (1)試合開始80分前に、マネージャーズミーティングを行う。尚、定刻に遅れた場合は、不戦敗とする。
- (2)マネージャーズミーティング時にメンバー用紙と（公財）日本サッカー協会発行の写真付き選手証を提出し、それ以降のメンバーの変更は認めない。但し、ウォーミングアップ中の事故による場合のみ、サブの登録メンバーとの変更を認める。この場合交代の回数には含めないがサブの登録メンバーの補充は出来ない。
- (3)試合中、もしくは試合終了後の抗議などは一切受け付けない。抗議などがある場合は書面により、試合終了後3日以内に埼玉県大学サッカー連盟フェアプレー・規律委員会（委員：今野氏、上原氏、西川氏）に提出すること。
- (4)その他の運営上の注意点は「競技の運営上の注意事項」として別に定める。
- (5)大会要項違反またはその他の不都合があった場合は、そのチームの出場を停止とし、それ以降の処置については、埼玉県大学サッカー連盟フェアプレー・規律委員会（委員：今野氏、上原氏、西川氏）において決定する。

平成 25 年度第 37 回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント
埼玉県大会

参加チーム 12 チーム

尚美学園大学

埼玉工業大学

城西大学

埼玉大学

文教大学

共栄大学

獨協大学

芝浦工業大学

駿河台大学

東京理科大学

目白大学

日本工業大学